

沿岸海洋シンポジウムのお知らせ

沿岸海洋研究会では、下記のシンポジウムを開催します。

沿岸高解像モデルの現在と未来 (1)沿岸海洋物理現象の再現に向けて

主催：日本海洋学会沿岸海洋研究会

コンビーナ：森本 昭彦（名大）・八木 宏（水工研）

日時：2014年3月26日 10:00 - 16:00

場所：東京海洋大学 会場未定

会長挨拶（10:00-10:10）門谷 茂（北大院水産）

趣旨説明（10:10-10:20）：森本 昭彦（名大）

座長：森本昭彦（名大）

1. 気象研の沿岸モデル開発

（10:20-10:50）辻野 博之（気象研）

2. 外洋から沿岸に向けたモデリングの取り組み

（10:50-11:20）宮澤 泰正（JAMSTEC）

3. 大気海洋波浪結合領域モデルの開発

（11:20-11:50）相木 秀則（JAMSTEC）

4. 高解像数値モデルと新観測技術を用いた瀬戸内海の海洋循環研究

（11:50-12:20）磯辺 篤彦（愛大）

— 休憩（12:20-13:30） —

座長：八木宏（水工研）

5. 陸棚から砕波帯までを考慮した沿岸流動モデル

（13:30-14:00）内山 雄介（神戸大）

6. データ同化を用いた沿岸域モデルの高度化

（14:00-14:30）入江 政安（阪大）

7. 次世代の沿岸モデルのための現場観測

（14:30-15:00）日向 博文（国総研）

8. 次世代の沿岸モデルのための衛星観測

（15:00-15:30）市川 香（九大）

総合討論（15:30-16:00）